

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>研究の名称 プライマリ・ケア国際分類第2版（ICPC-2）を用いた日本における在宅患者の愁訴及び健康問題の内訳：後ろ向きコホート研究</p> <p>研究の対象 過去の研究（研究代表機関：むさし小金井診療所「プライマリ・ケア国際分類第2版（ICPC-2）を用いた日本における在宅患者の愁訴及び健康問題の内訳：前向きコホート研究」）において、2016年10月から2017年3月までに参加診療所から訪問診療・臨時往診を行った全患者のうち、同意が得られた患者</p> <p>研究の目的 日本の家庭医療専門医が行う在宅診療を受けている患者の愁訴・介入・健康問題についてプライマリ・ケア国際分類第2版（ICPC-2）を用いて前向きに集計された資料のデータ解析を行う。 主な目的として ・日本において家庭医療専門医が行っている訪問診療の愁訴・健康問題・介入の記述 ・訪問診療を受けている患者の多疾患併存（multimorbidity）の割合及び組み合わせ ・頻度の高い愁訴に関する診断の内訳の記述</p> <p>研究の期間 2019年4月から2021年3月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>利用し、又は提供 する試料・情報の</p>	<p>研究に使用する試料・情報： 1）家庭医療専門医に関する項目</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>項目</p>	<p>年齢 性別 卒業年度(西暦) 専門医資格取得年度(西暦) 他の専門医資格取得の有無</p> <p>2) 医療機関に関する項目</p> <p>医療機関規模(無床・有床診療所、有床の場合は一般病床数と療養病床数の内訳) 訪問診療で実施できる検査(血液検査、尿検査、単純X線検査、心電図、超音波検査、その他) 所在自治体人口</p> <p>3) 患者に関する項目</p> <p>年齢、性別、要介護度</p> <p>ICPC-2 コーディングデータ</p> <p>具体的には上記6か月間に参加診療所から訪問診療・臨時往診を行った全患者の</p> <p>愁訴 介入 健康問題</p> <p>をカルテ情報から転記。</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>共同研究機関の名称及び研究責任者</p> <p>東京慈恵会医科大学 臨床疫学研究部 教授 松島雅人</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>研究責任者</p> <p>浜松医科大学 医学部地域家庭医療学講座</p> <p>特任助教 金子 惇</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
問い合わせ先	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部 診療科：地域家庭医療学講座 担当者：金子 惇 TEL： 053-435-2416 E-mail：makotok@hama-med.ac.jp</p>